

【行事予定：阿蘇火の山旗スポーツ競技大会賛助演武会及び合宿交流会】

日時：2024/9/28(土)～29(日)

内容：

- ・演武会（阿蘇中学校武道場(阿蘇市内牧 609)）
 - ・開会式 13:00 演武会 13:10～14:40。（連盟道場から各3組程度）
- ・交流稽古（演武会に引き続き同じ場所）
 - ・14:45～16:55 指導（太田黒館長、佐藤館長）
- ・懇親会及び宿泊（阿蘇プラザホテル(阿蘇市内牧 1287 TEL0967-32-0711)）
 - ・時間：18:30～ 翌朝解散

会員投稿 吉田さんからの投稿です

パリ・オリンピック/パラリンピックがメディアでよく取り上げられ、テレビやネットで選手達の活躍を目にする機会が多いですね。

パラリンピック選手の中には一般の健常者よりもはるかに高い身体能力の人がいると思うことがよくあります。オリンピック選手の場合、はなから凄い身体能力だとわかっているのです、こういう考えはうかびませんね

「傷がいがあるのにすごい」「傷がいに負けずに頑張っている」とか、こういう感情がわくということとは、傷がいのある人を特別視しているということでしょうね。

「傷がいがあるのは不便ですが、不幸ではない」「傷がいではなく、個性です」という言葉を本で見たことがあります。背が高い/低い、太っている/痩せている等と同じように個々人の単なる違いとしてみればよいということですね。

自分も背が低い方なので、高い所にあるものをとる時には不便を感じることはありますが、踏み台を使えば済むことです。もう少し身長が欲しいと思うこともありますが、ないものねだりをしてもしかたないですね。逆に体が小さいため、狭い隙間をすり抜けることが出来て便利なことがあります。

今の自分が置かれている状況を考え、自分のもっているものを活かしてどのように物事に取り組むかが大事でしょう。

相手の個性を認め、お互いを尊重し、協力しながら生きていくことがよりよい世界を作っていくのだと思います。多様性、バリアフリー等とか言われていますが、こういうことが当たり前を実現され、わざわざ言わなくてもよい世の中に早くなると良いですね。

植芝盛平翁が残された道歌に「合氣にてよろづ力を働かし美わしき世と安く和すべし」があります。合気道を修行している身としては、少しでも美しき世にすることに貢献できるように努めていきたいと思えます。

編集後記

朝晩は少し気温が下がってきたのか、過ごしやすくなってきたように感じますが、まだまだ暑い日が続いています。また、長崎でもコロナが流行っており、気が抜けませんね。

涼しくなってきた気がゆるんでくる頃に夏の疲れがどっと出て「秋バテ」になることもありますので、無理せず、体調と相談しながら楽しく活動していきましょう。